

有明莊特別會計

令和2年度 有明荘特別会計の概要

観光宿泊施設（安曇野市有明荘）について、指定管理制度による民間事業者のノウハウを生かした運営を行うことで、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図ることにより、交流人口の拡大及び市民福祉の向上を図りました。

例年4月下旬から11月下旬までの営業を行っていますが、令和2年度はコロナ禍により、市から指定管理者に対して休業要請を行ったこと、北アルプス南部地区の山小屋が7月15日まで一斉休業し、登山の自粛を呼びかけたことにより、例年に比べて指定管理者の利用料金収入が激減しました。このことから、指定管理者と協議し基本協定に定める3,620千円の納付金については、令和2年度に限り免除しました。

令和3年度	
部	商工観光部
課	観光交流促進課
係等	拠点維持整備係

決算書 ページ	380
------------	-----

予算	款	01	施設事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	施設事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	有明荘施設管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
6,639,000	6,633,584	0	5,416	99.9%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
6,631,000	一般会計繰入金	6,631,000		
	有明荘外施設使用料	0		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市が所有する観光宿泊施設（有明荘）について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

有明荘については、例年4月下旬から営業を開始しますが、コロナ禍の中、北アルプス南部地区の山小屋が7月15日まで一斉休業し、登山自粛を呼び掛けていたことから、日帰り入浴の開始を6月19日、宿泊を7月1日からとして営業を開始しました。

営業開始後は、新型コロナウイルス感染症拡大対策を実施しながら、誘客に努めましたが、例年に比べ客足が伸びることはなく、11月23日に令和2年度（158日間）の営業を終了しました。

このような状況の中、指定管理者の利用料金収入が激減したことから、基本協定に定める3,620千円の納付金については、指定管理者と協議のうえ令和2年度に限り免除しました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定管理料	なし	市への納付金	0円（免除）
利用者数	宿泊者 1,893人（前年比 2,131人減） 入浴者 4,324人（前年比 6,238人減）		
主な修繕	排水管修繕 101,200円 網戸修繕 275,462円	サッシ修繕 260,509円 客室天井及び壁修繕・屋根修繕 956,109円	
主な工事	照明器具LED化工事 536,800円		
備品購入	エアコン購入 1,137,400円	冷凍冷蔵庫購入 792,000円	

上記の評価と課題等

指定管理者への委託により、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上を図り宿泊者の9割以上を占める登山客から高い評価を得ています。

しかし、施設の老朽化による修繕費の増加、設備等が他の民間施設に比べて古いなどの評価も見受けられることから、運営を続けるためには、大規模な改修が必要と考えられます。

また、行政と指定管理者の二重の管理は、制約等も多く柔軟性に欠けることから、民間譲渡を含め施設の在り方を検討していきます。